

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2023

10月上旬～11月中旬

- 季節のおすすめ散策コース
(ゆっくり歩いて1時間)
- おでかるコース
(ゆっくり歩いて30分)



いきもの



アサギマダラ(タテハチョウ科)
秋に南へ向かって旅をするチョウ。
旅の途中、フジバカマやヒヨドリバ
ナへよく吸蜜にきます。



リスアカネ(トンボ科)
赤トンボの一種。林のそばの
少し暗い池沼を好む。



ノスリ(タカ科)
小型のタカの仲間で、秋から冬にかけての渡りの時期によく姿を見かけます。

植物紹介 (Plants)

- ヤマハッカ(シソ科)**
山に咲くハッカの仲間ですが、ハッカの香りはせず、メントールも探れません。
- カキノキ(実)(カキノキ科)**
果実は食用や柿渋の材料に、葉はお茶になる、有用な植物です。里山には多く植えられています。
- ゲンノショウコ(フウロソウ科)**
昔から、整腸薬として重宝されてきた野草。
- ナワシログミ(グミ科)**
稻の苗代が育つころ、つまり田植えのころに実が熟すことからついた名前です。花は秋にひっそりと咲きます。
- リュウノウギク(キク科)**
日当たりのいい丘陵地や山地に生育する白いキク。葉を揉むと樟脑のような香りがします。
- ミゾソバ(タデ科)**
日当たりの良いみどりによく生えます。葉の形が特徴的で、「ウシノヒタイ」という別名も。
- イヌタデ(タデ科)**
役に立たないからこの名がついたそう。ピンク色の花穂がかわいいですね。

生きもの紹介 (Animals)

- タコノアシ(タコノアシ科)**
タコの足を引っくり返したような形からこの名前がつきました。秋の紅葉シーズンには赤く色づき、まるでダコのよう。
- ススキ(イネ科)**
秋の草地を代表する植物。秋の七草の尾花です。藍那では、茅葺屋根の材料として利用されてきました。
- ツリガネニンジン(キヨウ科)**
小さな釣り鐘型の花をつける。根の形が朝鮮人参に似ていることから、ニンジンという名がついたらしい。
- コバンガマズミ(実)(ガマズミ科)**
春に小さな白い花が咲きます。よく似たミヤマガマズミよりも葉っぱが細く、さわるとふわふわした手触りです。
- カマツカ(実)(バラ科)**
カマの柄にできるほど材が強いことからこの名がついたそう。ピンク色の花穂がかわいいですね。